

押小だより

て ん し ん ら ん ま ん

天真爛漫



令和7年11月7日
さくら市立押上小学校
令和7年度 第8号
文責：仁平 博幸

“全力チャレンジ”の運動会

10月25日（土）、今年度の運動会を実施することができました。当日は、多くのご来賓と多くのご家族、地域の方々にお越しいただき、子どもたちへの声援、拍手等を頂戴しました。改めて感謝申し上げます。

毎年のことですが、私は運動会を実施するに当たり大切にしたいことがありました。それは、子どもたちが「全力」で取り組むということです。「全力の運動会」は、自分も、みんなも、見ている人も感動し、達成感とともに「幸せ」を感じるものになる。そして、全力の子どもたち一人一人が成長を感じる運動会になると思ったからです。そして、このことは、私の思い描く学校の姿である「だれもが安心して力を出し、みんなが幸せを感じる学校」そのものだからです。



運動会当日、花火の合図とともに運動会が始まりました。開会式、そしてラジオ体操から演技が始まり、最後の上学年のリレー、そして閉会式。

どの競技・演技においても、子どもたちが全力で取り組む様子が見られました。また、高学年児童は前日の準備から当日の係の仕事、また1～4年生も応援などに全力を出していた姿が見られました。私は、そのような子どもたちの「全力」の姿を見て、本当にうれしい気持ちに、そして「幸せ」を感じました。

そして、なんといっても最高学年、小学校最後の運動会を一生懸命に「全力」で取り組む6年生の姿に感動をもらいました。

さて、私は、開会式での校長の話で次のようなこととお話ししました。

児童のみなさん、今年の運動会のスローガンは「心をひとつに！ あきらめないで 全力チャレンジ！」です。今日は、ここにいるみなさん一人一人が協力し、全力でチャレンジをして、「成長（チェンジ）」を感じる運動会」に、そして、自分も・みんなも・見ている人も感動し、「幸せを感じる運動会」になることを願っています。

子どもたちは、まさに、スローガンのとおり「全力」で「チャレンジ」し、「成長」を感じる運動会、そして、みんなが「幸せ」を感じる運動会となったと思っています。

改めて、ご来校いただいた全ての皆様、そして、素晴らしい運動会を作り上げた全ての子どもたちと本校職員に感謝しています。「全力チャレンジ」の素晴らしい運動会を本当にありがとう。（仁平博幸）

◎運動会以外の10月の学校の様子をご紹介します。

10月3日（金）

○稲刈り（5年生）

春に植えた苗が大きく育ち、稲刈りを行いました。お世話をしてくださった土屋さんに感謝です。



10月9日（木）

○きぬ川学院運動会参加

1・2年生が、きぬ川学院の運動会に参加。運動会で披露したダンスをお披露目しました。



10月30日（木）

○花育活動

花の生産や管理について専門家の方からお話を伺い、一緒に学校花壇に花苗を植えました。



PTA会長様に毎年ご協力いただいています。感謝申し上げます。

押上小運動会2025 思い出のワンシーン



祝 押上小学校が「優良学校」に

(令和7年度 教育功労者、優良学校及び優良団体表彰(栃木県教育委員会))



栃木県教育委員会では、毎年、本県の教育の振興に顕著な功績を挙げた個人、学校及び団体を表彰しています。

今年度は、教育功労者43名、優良学校5校、優良団体1団体が選ばれ、このたび、本校がその中の「優良学校」として表彰されることになりました。先日、10月30日(木)に県公館で表彰式が開催され、学校を代表して校長が授賞式に出席し、表彰を受けてきた次第です。

今回の受賞内容は「地域の防災力を高める学校安全」で、これまでの教育委員会の支援・助言、また地元消防団やまつのみパトロール隊、学校支援ボランティアなど地域の皆様の多大なご協力をいただきながら安全教育を展開してきたことによるものと思っています。また、2年前に本校が防災教育の研究校として実践したことをきっかけに、市内の学校に防災教育が広がっていることも評価いただいたのではないかと考えています。

このたびの表彰につきまして、改めて関係機関、関係者の皆様に感謝申し上げます。今後も、地域とともにある学校として、防災教育、安全教育を推進し、「だれもが安心して力を出し、みんなが幸せを感じる学校」となるよう努めていきたいと強く感じています。

